

大腸内視鏡検査の準備

検査前日

朝食	具のないスープ・ジュース・ヨーグルト・ゼリーなどの半固形食や流動食をおとり下さい。（検査食「サンケンクリン II」は昼食からです。）一日を通して水分は充分にとって下さい。
昼食・間食	「サンケンクリン II・昼食／間食」をおとりください。
夕食	午後7時までに「サンケンクリン II・夕食」をおとりください。
午後8時	「センノシド」（下剤）2錠をコップ1杯の水で飲んでください。

検査当日

起床時	当日、お食事はとらないで下さい。 血圧、心臓の薬を服用中の方は、起床後早めにお飲みください。	
午前8時	「サルプレップ」と「お水」を飲みます。 飲み方は別紙を見てください。 ステップ1（別紙参照）までは必ず飲んでください。 便がカスの混じらない透明な状態にならない場合は追加して飲んで下さい（ステップ2以降）。	飲んでもよい「お水」 ○水・ミネラルウォーター ○お茶（ウーロン茶、麦茶、煎茶、番茶）
排便の確認	別紙ステップ1～3まで全て飲んだ後も、カスが混ざっていたり濁っている場合は、追加の処置が必要となりますので12時までに電話でご連絡下さい。	

※便の状態をチェックシートに記入して、検査当日に診察券・予約券と一緒に受付へ出してください。

※当日は麻酔の注射を使用します。帰りは運転できませんので、自転車、バイク、自動車などをご自身で運転して来られぬようお願いいたします。飲酒運転と同様の状態になり、危険です。

※気分不良等がある場合には下記へご連絡ください。

緊急連絡先 一色外科胃腸科医院 TEL：045-391-0166

大腸ポリープ切除術について

当院では大腸内視鏡検査でポリープや早期がんが発見された場合にはできるかぎりその場で切除を行っています（「日帰り手術」）。しかし、治療後に麻酔薬の影響や腸管内に空気が入ることによる症状（血圧低下・吐き気・気分不快等）、術後の出血、腸穿孔による腹膜炎などの危険があります。

「日帰り手術」は患者様の利便を考えたものであり、帰宅後も100%安全であることを保証するものではありません。「日帰り手術」を受けていただいた患者様にはいくつかのお願いがあります。

術後1週間は下記の注意事項をお守りください。

患者様ご自身の安全のため、手術後1週間は下記の注意事項をお守りいただきます。どうしても外せない重要な用事（重要な試験、日程を変更できない仕事、行事への参加など）がおありの患者様には万が一を考えて後日改めてポリープ切除術を行いますので、あらかじめ医師・看護師へお申し出下さい。

- ①飲酒は出血の原因となりますので絶対におやめください。
- ②食事に関しては極端に辛いものや油っぽいものは避け、消化のよいものにして下さい。
- ③スポーツ（ゴルフ、テニス、ランニング、ジムでのトレーニングなど）はおやめ下さい。散歩や買い物程度は大丈夫です。
- ④重い荷物を持ち上げたり、強くいきむことも出血の原因となりますのでおやめ下さい。
- ⑤長距離の旅行・出張、温泉・サウナなどでの長時間の入浴は避けて下さい。

※ポリープをとらない場合には上記の制限は必要ありません。

状況により手術翌々日までの自宅安静が必要となります。

ポリープの大きさや形、治療内容、術後経過（腹痛や出血など）によっては、手術翌々日（3日後の朝まで）の自宅安静と食事制限が必要となることがあります。外せない用事などで自宅安静が不可能な方はあらかじめお申し出下さい。

下血、腹痛、気分不快などが出現した場合は、まず電話で御連絡ください。

帰宅後に下血（赤黒いドロドロの便）や強い腹痛、冷や汗、気分不快などがありましたら、下記へ電話で御連絡ください。（夜間・休日も対応します）